

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成26年11月13日(2014.11.13)

【公開番号】特開2013-114075(P2013-114075A)

【公開日】平成25年6月10日(2013.6.10)

【年通号数】公開・登録公報2013-029

【出願番号】特願2011-260809(P2011-260809)

【国際特許分類】

G 03 B	17/18	(2006.01)
H 04 N	5/225	(2006.01)
H 04 N	5/232	(2006.01)
G 03 B	15/00	(2006.01)
G 02 B	7/08	(2006.01)
G 02 B	7/02	(2006.01)
G 03 B	5/00	(2006.01)

【F I】

G 03 B	17/18	Z
H 04 N	5/225	F
H 04 N	5/232	Z
G 03 B	15/00	Q
G 02 B	7/08	Z
G 02 B	7/02	E
G 03 B	5/00	D

【手続補正書】

【提出日】平成26年9月26日(2014.9.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

凹部を有する回転自在な操作リングと、

前記操作リングのクリック感の付与された回転規制の有る規制状態と前記操作リングの回転規制の無い非規制状態の二つの状態を、前記操作リングそれぞれの状態に割り当てる機能以外の機能とは無関係に切り替え可能な切替手段と、

前記切替手段によって前記規制状態とされた場合に前記操作リングの凹部を押圧する押圧部材と、

を備え、

前記規制状態には、パラメータを変更するモード切替機能が割り当てられ、かつ、前記非規制状態には、ズーム倍率を切り替える機能が割り当てられ、

さらに、

前記操作リングの回転操作により、前記切替手段によって選択された状態に割り当たられた機能に対応した制御が行われることを特徴とする撮像装置。

【請求項2】

画像を表示可能な表示部と、

前記規制状態において、複数の機能の各々に対応したアイコンを前記表示部に表示させるとともに、前記操作リングの回転に応じて選択された機能に対応するアイコンをハイラ

イト表示に変更する表示制御部と、  
をさらに備えたことを特徴とする請求項 1 に記載の撮像装置。

【請求項 3】

所定の視野領域を集光する光学系と、  
前記非規制状態では、前記操作リングの回転に応じて前記光学系を該光学系の光軸方向  
に沿って移動させるパラメータ変更部と、  
をさらに備えたことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の撮像装置。

【請求項 4】

前記光学系が集光した光を受光して画像データを生成する撮像部と、  
前記撮像部が生成した前記画像データに対応する主画像から所定の領域を切り出して副  
画像データを生成する副画像生成部と、  
をさらに備え、  
前記モード切替機能には、前記副画像データを生成するためのモードが含まれることを  
特徴とする請求項 3 に記載の撮像装置。

【請求項 5】

前記パラメータは、前記副画像データの位置または範囲であることを特徴とする請求項  
4 に記載の撮像装置。

【請求項 6】

前記光学系を有するレンズ鏡筒をさらに備え、  
前記操作リングは、前記レンズ鏡筒の周囲に設けられていることを特徴とする請求項 3  
~ 5 のいずれか一つに記載の撮像装置。